日本政策金融公庫との「危機事象発生における業務連携」締結について

◆業務提携

・福岡ひびき信用金庫

・株式会社日本政策金融公庫

（福岡県に所在する八幡支店【代表】、福岡支店、福岡西支店、北九州支店）

◆提携の背景と目的

近年、自然災害、感染症パンデミック、サイバー攻撃など、予測困難な危機事象の発生頻度と規模が増大しています。

これらの危機事象発生時には、地域の中小企業や住民の皆様の資金繰りがひっ迫し、金融サービスへのニーズが急増する一方で、金融機関側も業務継続に支障をきたす可能性があります。

このような状況において、両者が連携することで、相互に補完し合い、危機時においても切れ目のない金融サービスを提供し、地域経済の安定と復旧・復興を支援することを目的として、今回の業務連携を締結する運びとなりました。

◆業務連携の内容

（1）各々の金融支援機能を発揮した事業者への迅速な資金繰り支援

（2）コンサルティング機能の発揮及び必要な情報提供、並びに双方向の事業者等の紹介

（3）その他危機事象発生時に必要となる連携

◆期待される効果

（1）切れ目のない金融サービスの提供

事前に連携方針を決めておくことで、危機事象発生時においても、地域の事業者へ切れ目のない金融サービスを提供できる体制を整備します。

（2）早期の事業者支援・災害復旧に貢献

危機事象発生直後から、各々が持つ金融支援機能を最大限に発揮した事業者への迅速な資金繰り支援や被災情報の共有等に取り組むことで早期事業者支援・災害復旧に寄与します。

◆今後の展望

危機事象が発生した際に、地域の中小企業や住民の皆様が、資金繰りや経営に関する相談を「どこにすれば良いか分からない」「どこにも相談できない」といった状況に陥ることを防ぎ、切れ目のない金融サービスを提供し続けることが最大の目的です。これにより、地域経済の混乱を最小限に抑え、早期の復旧・復興を支援してまいります。